

遠隔療法を学んでいただいている先生方のための

高度管理医療機器
特定保守管理医療機器
機械器具 12 理学診療用器具

trinplD トリンプルD 半導体レーザー治療器

JMDN 70630000



trinplD

最高出力 10W

波長 900nm

疼痛緩和率の高さと持続性

小型軽量、低コスト

最高出力 10W

最高出力 10W は世界初。
さらに 1/1200 秒パルス発振し、平均パルス幅 200ns を実現し、人体に為害作用・副作用のない平均出力 2.4mW を可能にしました。

波長 900nm

治療促進に最も効果のあらわれた 900nm の波長を採用しました。

疼痛緩和率の高さと持続性

肩こり、五十肩、腰痛、関節炎、筋肉痛、リウマチ、通風、捻挫、むち打ち、腱鞘炎、筋性頭痛、三叉神経痛、顎関節症、咽頭神経痛など筋肉と関節の慢性非感染性の炎症による疼痛の緩和に効果があります。

小型軽量、低コスト

軽量 (1.2kg)、コンパクト (W130×D180×H76mm) なトリンプルD は価格もリーズナブルです。

- 遠絡統合療法の理論に沿って様々な症状に対して治療効果が発揮できる治療器です。
- 押し棒の代用としてF-Point に当てるだけで同じ効果があり、中枢の局所の治療が簡単にできます。ハンドピース先端の方向を変えるだけで、「瀉」「補」にも対応できます。
- 治療中も痛み・熱さを感じませんから、高齢者・お子様に対しても使用できます。
- 痛みを和らげたり、炎症を早くおさめたりできます。

<仕様>

発振方法： レーザーダイオードによるパルス発振

単位当たりの照射： 1.25J/cm² (距離：2mm～5mm)

発振周波数： 1.2KHz

電源電圧： AC100V

パルス幅： 200ns

周波数： 50/60Hz

波長： 0.9μm

消費電力： 14W

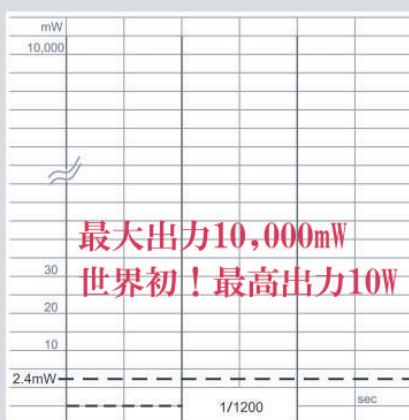
平均出力： 2.4mW

質量： 850g

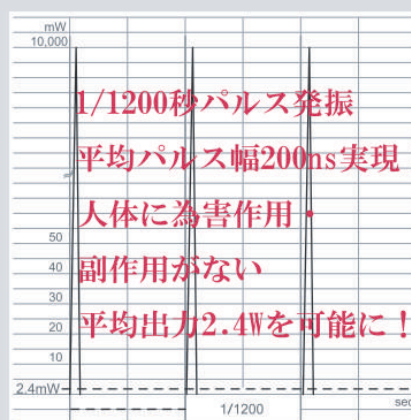
ピーク： 10W

EMC 規格 JIS T 0601-1-2:2002 に適合している。(日本製)

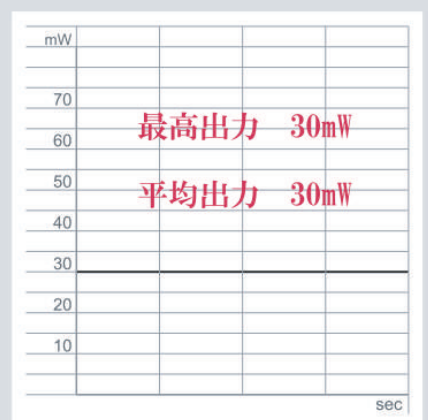
トリンプルD出力



パルスレーザーと連続レーザーの原理



通常の半導体レーザーは連続式レーザーです



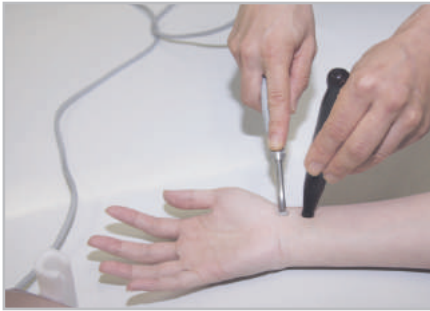
遠絡統合療法の治療に適しているトリンプルDの応用

trinplD 使用例



押し棒をC-Pointに当てながら、トリンプルDのハンドピースをF-Pointに当て照射します。

2台以上のトリンプルDをお持ちの場合は、複数のF-Pointを同時に照射できます。また、C-Pointにも使用できます。



トリンプルDのレーザーは、全ての遠絡Pointに対応できます。押し棒のように太さを選ぶ必要はありません。

また、遠絡統合療法の難治性疾患の治療におきましては、トリンプルDは欠かせない治療器具となっています。

遠絡統合療法の治療される先生方をはじめ、
数多くのドクターにご使用いただき、好評を博しています！

trinplD 評価

三叉神経痛の治療経験（抜粋）

東京医科歯科大学歯学部第1口腔外科学教室 中野健介 他4名

（前略）・・・今回われわれは吉田製作所製の半導体レーザー治療器を使用し、三叉神経痛5例の治療を行い、全例に良好な結果を得たのでその概要を報告する。

現在、一般に行われている三叉神経痛の治療法には、薬物療法、理学療法、神経ブロック療法、凍結方法、手術などがあるが、（中略）確実な治療法がないのが現状である。今回われわれが行ったレーザー鍼治療は、理学療法に属するもので、極めて弱いレーザー光を使用しており、いわゆる鍼治療とは異なり鍼を刺入することがなく、次のような特色があるとされている。

- ① 感染の危険がない
- ② 安全である
- ③ 簡単に応用しうる
- ④ 治療目的に応じて正確な部位に照射しうる
- ⑤ 短時間ですむ
- ⑥ 制御的治療が可能である
- ⑦ 無痛である

（中略）他の三叉神経痛の治療法に一長一短がある現段階では、（半導体レーザーを）先ず試してみる価値のある治療法と思われる。



高度管理医療機器等販売業許可
許可番号第41450554号

株式会社 **エスピーシー**

（システムプランニング・コンストラクション）

〒812-0882 福岡市博多区麦野5丁目6-3
TEL: 092-588-6200 FAX: 092-588-6201